

11 庄野地区まちづくり協議会



歴史と文化を未来へつなぐ。待ちわびた人々の想いを結び、地域の心を一つにする庄野の夏の伝統、大念佛踊り！



1

庄野地区まちづくり協議会って？

庄野地区まちづくり協議会は、中央に鈴鹿川が流れ、旧東海道宿場町であるエリアと、商業施設や宅地開発が進んだエリアが隣接する庄野地区で活動しています。
鈴鹿川沿いにある防災意識の高い地区で、SNSを活用した情報発信だけではなく、高齢者福祉、伝統文化継承等を通じて、ふれあいを基盤とした安心・安全なコミュニティ作りを目指しています。



▲防災訓練の様子

2

主な取り組み

年2回の地域清掃で庄野地区の環境維持を図るほか、防災訓練では備蓄品や消火器の使用方法を実際に体験することを学び、被災時の対応能力を高めています。
また、庄野フェスや夏祭り、餅つきといった気軽に参加できる地域行事を開催し、行事を通じた地域内の交流の活性化を担っています。



▲もちつき大会の様子

みんな楽しそう！

3

今回紹介するのはこの事業！

新型コロナウイルスの影響等、様々な要因で中止が続いていた「庄野大念佛踊り」が、多くの期待を受け5年ぶりに開催されました。
天明の大飢饉に起源を持つとされる庄野の夏の伝統で、地域の結束と厄災鎮静・鎮魂を願って大切に踊り継がれてきた盆踊り行事です。



▲花笠を運ぶ様子

4

どんな課題や思いがあるの？



大念佛保存会
黒田会長

この念佛踊りの起源は遡ること240年ほど前、天明の大飢饉が起こり、多くの人が亡くなり、地域の治安も非常に悪化しました。そのため地域住民の結束と亡くなられた方々の鎮魂を目的として始まったと言われています。
現在の保存会の活動は、その当時から連綿と引き継ぎ、毎年8月15日の盂蘭盆会に庄野児童公園を会場にして、太鼓、ほら貝、笛を交え、音頭とりの声に合わせて「庄野大念佛踊り」を披露しています。
しかしながら、近年はこの伝統ある念佛踊りの継承者の確保に苦労しています。今後はもっと練習の機会を増やし、広く募集をかけ継承者の育成を図っていきたいと考えています。

5

この事業を継承していくために！

大念佛踊りで大切となってくる歌い手、花笠の組み立て、踊り手やほら貝等の楽器の演奏など、伝統を継承できるようにみんなで練習を行っています。
また、今年度は、コミュニティ助成事業の助成金を活用し、音頭台を新調しました！従来の物は、重く、組み立ても困難だったため、アルミ製の音頭台になり、準備も格段に安全でスムーズに行うことができました。



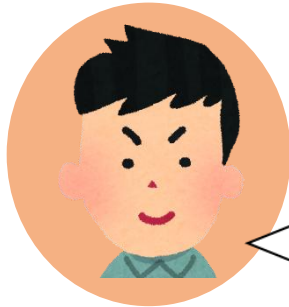
▲新しい音頭台



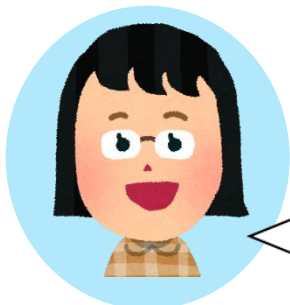
▲念佛踊りの練習の様子

6

その事業に参加した人の声



庄野大念佛踊りについて初めて知りました。こどもも楽しめる催しも用意してもらっていたので、家族みんなで楽しめました！



新型コロナウイルスの影響や悪天候などで何年も行うことができなかった大念佛踊りを踊ることができて、とてもよかったです。